

鞠智城を国営公園に

問い合わせ先

所課係
役調整
市振調
池画画
菊企企
(25) 1111



菊池市木野と山鹿市菊鹿町にまたがる「鞠智城」。「続日本紀」などの国の歴史書にも記載のある全国有数の重要遺跡として、平成16年2月27日に国史跡に指定されました。周囲の長さ3・5キロメートル、面積55ヘクタール（内、菊池市約5・5ヘクタール、山鹿市約49・5ヘクタール）の規模をもつ城で、昭和42年度からの熊本県の発掘調査により、八角形建物跡をはじめとする72棟の建物跡や、貯水池跡、土塁跡など、当時の姿を物語る貴重な遺構が相次いで発見されています。こうした発掘調査の成果に基づき、平成6年度から4棟の復元建物（八角形鼓樓、米倉、兵舎・板倉）をはじめ、城の立地や規模、構造などを体験的に学習できる歴史公園として県が整備を進めています。歴史的にも貴重な城跡を、今まで以上に多くの人に知ってもらい、さらに整備をしながら活用してもらうためには、国営公園化することが最も有効であると考えられます。

◆時代背景

時は7世紀ごろ、朝鮮半島の百済が、新羅と唐の連合軍に滅ぼされました。663年復興を願う百済と友好関係にあった大和朝廷は援軍を送りましたが、「白村江の戦い」で大敗したため新羅と唐の日本列島への侵略に備えて西日本各地に山城を築いていきました。

◆古代山城とは

九州地域には、対馬の金田城、福岡の水城、大野城、基肄城、熊本の鞠智城、山口の長門城の古代山城が大宰府を守るように築城され、内陸部に位置する鞠智城は、大宰府や各山城に兵士や武器、食料を補給する支



援基地と考えられています。これらの古代山城は、「日本書紀」「続日本紀」などに記載されている史跡で、朝鮮式山城と呼ばれています。

◆鞠智城の主な遺物

- **城門** 南側に「堀切門」「深迫門」「池の尾門」、北側に「北門」があります。堀切門は、菊池市側にあり鞠智城の正門といわれています。
- **建築物** 現在確認されている建物跡は72棟で、掘立柱建物49棟、礎石建物23棟です。八角形鼓樓をはじめとする4棟が復元されています。特に、八角形鼓樓は、鞠智城のシンボルとしても有名であり、国内古代山城として初めて発見されました。
- **池跡、木簡** 古代山城では初めて発見された貯水用池跡やその跡で出土した木簡は、建築に百済の技術者が直接関わっていたことや城の近くに渡来人の「秦氏」が住んでいたことを示しています。



●鞠智城のシンボル「八角形鼓樓」

鞠智城跡では、国内の古代山城では例を見ない、4基の八角形建物跡が見つっています。韓国の二聖山城でも同じようなものがあり、注目されます。特別な性格の施設であったことをうかがわせる、八角形という特殊な形であったことから、鼓の音で時を知らせたり、見張りをしたりするための「八角形鼓樓」として復元されました。

◆国営公園化の意義

鞠智城は、県立歴史公園として整備が進められ、平成14年に本格的にオープンしましたが、今まで以上に整備を推進し、より多くの人に知ってもらい、活用してもらうためには、国営公園化することが最も有効です。国営公園化が実現することにより、国土交通省直轄による施設全体の管理や建物などの復元資料館などの充実が図られます。また、鞠智城を中心とした周辺の歴史遺産と連携した歴史的学習の場を広げると同時に、観光スポットと連携した観光客の



温故創生之碑

◆国営公園化に向けた活動

国営公園化に向けた地元の気運を盛り上げるために、各種団体、組織の代表者25人からなる「鞠池市国営鞠智城歴史公園設置促進期成会」を平成19年3月22日に設置しました。この期成会を中心に、次の活動を市民の皆さんと進めていきます。

●主な活動計画

- **古代米（有色米）の作付け** 鞠智城内の農地に築城時代の古代米（赤米・緑米）を作付け、古代の風景を再現します。
- **学習会** 市民の多くの皆さんへ鞠智城のことを知ってもらうための学習会や現地視察を行います。開催時期は、広報紙などでお知らせします。
- **日韓シンポジウム** 鞠智城と韓国（百済）との歴史的関係から、現在菊池市が進めている韓国との交流とタ

韓国との交流を核とした市民一丸での取り組みを

◆韓国との連携

鞠智城と韓国との歴史的關係、そして時代を経て、現在菊池市が進めている韓国との交流を踏まえて、国営公園化の推進に向けた韓国との連携は不可欠なものです。そこで、国営化の推進に向けた韓国と共通認識を図るための活動を展開しています。

- 福岡韓国総領事館教育領事 李忠浩氏、韓国史編纂委員 金炫榮氏の鞠智城視察
- 韓国忠清南道李完九知事夫妻一行の鞠智城視察



韓国忠清南道、李知事夫妻一行の鞠智城視察（6月12日）

